

## 部会だより

### システム研究部会終了報告

実際に発足したのが45年11月16日の第1回部会であった。メンバーとして20名の会員が申し込んだが、以後の部会には平均7名の出席であった。47年4月14日で終了する。

経過：発足当初から、システム部会の研究対象について、部会メンバーの間の概念を統一することが必要であった。そのため、第1年度はシステムの構成概念の明確化を目標にして、C. W. Churchman 著、*The Systems Approach*, 1968, Delacorte Press をテキストにし、現実の問題との関連において、概念の明確な適応と実際のアプローチを試みるという方向で討論をした。

おもな対象は、在庫機能・システムのマネジメント・効率主義とシステムアプローチ、などであった。

第2年度においては、やや形式的に整った研究方向をとりあげることとして、M. D. Mesarović 著、*Theory of Hierarchical, Multilevel Systems* (1970), Academic Press の第1部 Hierarchical Systems をテキストとした。組織における意思決定階層の把握、目標の展開、組織とシステムなどがおもな討論対象であった。

2年間を通じて、自由討論に終始してしまっただけであるが、とりあげた文献、討論内容はともに有益であった（主査：松田正一 幹事：出居 茂<報告者>）。

## 支部だより

### 東北支部

#### 1. 会員状況

個人会員50名、賛助会員2社で、ここ数年減少気味であることはいささか淋しいが、新人や若手の入会もチラホラ、わずかずつの新旧交替が見受けられます。今後はこれら新会員の活躍に期待したいところです。

今まで特別な会員拡充活動もしなかったわけですが、再来年、仙台での秋季大会開催が予定されていますので、これを機会に今年から本格的な会員勧誘を行なう予定にしています。

#### 2. 活動状況

##### (1) 46年度活動内容

##### ◎ OR 勉強会

前年度に引き続き、4月より10月まで、毎月1回のOR勉強会を行ないました。この会は、近藤次郎著『オペレーションズ・リサーチ入門』をテキストにし、地元東北大学の先生を講師とした講義形式による勉強会で、対象を管理者としました。参加者

は毎回10名未満と割合い少数にとどまったことは、参加案内に若干不備があったためではないかと反省しております。

##### ◎ OR 講演会

3月13日、東北電力主催により、静岡大学学長・次期OR学会会長の小野勝次先生を講師とした「ORともの考え方」と題しての講演会が催されました。講演は約2時間にわたり、経営の中におけるORの重要性、適用上の注意、経験やカンとの関連、さらにOR的なものの考え方など、多くの事例を交えてのきわめて有益なものでした。

なお、終了後、小野先生を囲み、浅田支部長以下支部役員が出席して懇談会を催しました。

##### (2) 47年度活動予定

##### ◎ OR 研究会

事例発表により素材提供をし、これに対する自由な討議によってORの研究をしようという「OR研究会」を新たに発足することにしました。これは、一応年4回を目標に、毎回夜2時間程度を予定していますが、なるべく素材を集め、もっと多く開